

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ＆コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	美容室（経営者）	・例年ならば3月は来客数は増えるが、今月は悪い状況であったため、その反動により今から2、3か月後の来客数は増加する。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・政府の景気対策に期待する。景気の底打ちが感じられれば、デジタル家電品等の購入は増える。
		商店街（代表者）	・客は、良い商品であれば買う意欲はある。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・高速道路料金引下げの効果が、今後出てくる。
		一般小売店〔自然食品〕（経営者）	・小麦粉の値下げなど、物価が低下する動きがある。店頭でも価格を抑えた商品の品揃えが好評となっており、この好評は今後も続く。
		百貨店（販売担当）	・ゴールデンウィークには、リニューアルの効果も出て、売上の回復が見込める。
		スーパー（総務担当）	・客単価は12円ほど上昇しており、今後は良くなる。
		スーパー（販売担当）	・今が低い状態であるため、今後は今よりは良くなっていく。
		コンビニ（商品開発担当）	・自動車メーカーを始め、工場の稼働率の上昇に合わせて、労働人口も多少増加する。
		乗用車販売店（従業員）	・税制優遇措置の開始により、市場は若干ながら上向く。ハイブリッド車の発売も控えており、市場に活気が出てくる。
		乗用車販売店（従業員）	・景気対策や税制優遇措置の効果により、少しは良くなる。
		乗用車販売店（従業員）	・高速道路料金引下げの効果が出てくる。
		乗用車販売店（総務担当）	・景気対策の効果が今後本格的に出てくるため、景気は今以上には悪くならない。
		一般レストラン（従業員）	・5月末には定額給付金が給付され、高速道路料金引下げもあるため、景気は活性化していく。
		旅行代理店（従業員）	・今年のゴールデンウィークは大型であり、海外旅行と週末のマイカー旅行を中心に、定額給付金を利用した旅行者を取り込む商品を徐々に発表して、成約に結び付けていく。
	テーマパーク（職員）	・高速道路料金引下げの恩恵を受けて、今後の集客は良くなる。	
	その他サービス〔語学学校〕（経営者）	・今後は、設備の様様替えや宣伝による効果が期待される。	
	住宅販売会社（従業員）	・夏のボーナスの支給額にもよるが、今後動きは良くなる。	
	変わらない	商店街（代表者）	・良くなる材料は、全く見当たらない。これから需要期に入るが、客の様子を見ると生活の厳しさは変わらない。
		商店街（代表者）	・新幹線、飛行機の利用客によるお土産用の購入量が減少している。量販店でもプライベートブランド商品の比重が高まっており、銘菓売店の影は薄くなりつつある。
一般小売店〔酒類〕（経営者）		・取引先の飲食店の来客数が、増加する見込みはない。ただし、今が底であるので、これ以上悪くはない。	
一般小売店〔薬局〕（経営者）		・客の所得、株価、地価の動き共に、今のところ良くなる要素はない。	
一般小売店〔時計〕（経営者）		・良くなる材料は見当たらない。	
一般小売店〔惣菜〕（店長）		・身の回りの製造業、小売業では、賃金カット等の暗い話題が多いため、景気回復は遠い。	
一般小売店〔文房具〕（店員）		・客の購買意欲は、今後も上がらない。	
百貨店（売場主任）		・販売の低迷は、今後も続く。	
百貨店（企画担当）		・今後の見通しとして、良くなる材料は見当たらない。	
百貨店（企画担当）		・例年3月は、春夏のファッション商戦の傾向が先行的に現れる。今月の売上は著しく悪いため、今後期待できる要素は見当たらない。	
百貨店（販売担当）		・客の心理の大幅な改善は見込めない。	
スーパー（経営者）		・地元の自動車メーカーの生産が回復すると心理的に明るくなるが、3か月先ではそこまでいかず、良くはない。	
スーパー（店長）		・内食が増えていることや公共料金、生活必需品の一部値下げはプラス要因である。ただし、先行き不安のため、良くなるどころまではいかない。	
スーパー（店員）		・この先良くなる要素はなく、売上は前年同月比96～97%で推移していく。	

スーパー（営業担当）	・高速道路料金引下げや税制改正は、少しは景気停滞の歯止め要因になる。
コンビニ（エリア担当）	・タスポ効果による売上の増加は、しばらく継続する。
コンビニ（店長）	・来客数、単価の動きを見ると、今の状況が今後も続く。
衣料品専門店（売場担当）	・定額給付金の効果が出るとしても、前年同月を維持する程度である。一時的なものであり、今後も大きな期待はできない。
衣料品専門店（販売企画担当）	・一部の商品は好調の見込みである。しかし、全体の動きは鈍く、回復の兆しはない。
家電量販店（店員）	・単価は限界まで低下しており、これ以上は下らない。
家電量販店（店員）	・今後に向けた明るい材料はなく、売上が増加することはない。
乗用車販売店（従業員）	・明るい要素がなく、底の状態が今後も続く。
乗用車販売店（従業員）	・E T C搭載車を対象にした高速道路料金引下げや環境対応車への減税実施により、多少は良くなる可能性もある。ただし、品薄になっているE T C車載機の生産が遅れていることと、既存車種のほとんどが減税対象でないため、効果はあっても小さい。
乗用車販売店（従業員）	・4、5月と新型車の発表があるが、前年の販売量を維持することは困難である。税制改正法案が通れば、多少の販売は見込まれるが、大きな増加は見込めない。
一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・景気対策の効果のためか、来客数は増加している。2、3か月間はそのまま推移していく。
一般レストラン（スタッフ）	・前年同月比で、販売量は若干減少している。今後もすぐには良くならない。
旅行代理店（経営者）	・今後も定額給付金、高速道路料金引下げなどの効果が続く。
旅行代理店（経営者）	・夏までは、現在の安、近、短志向が続く。海外からの観光客を増やす方策が必要である。
旅行代理店（経営者）	・かなり悪化しているため、これ以上の悪化は無い。
タクシー運転手	・前年10月ごろから人出が少ない状態が続いているが、今後もこの状態が続いていく。
タクシー運転手	・新年度になってタクシー需要が増える要素は、今のところ見当たらない。
通信会社（企画担当）	・定額給付金、高速道路料金引下げの効果がどれだけあるかは、疑問である。
通信会社（サービス担当）	・新サービスが始まって、新規契約が増加すると思ったが、宣伝が少ないせいか、顧客の反応は小さい。今後もあまり変わらない。
通信会社（営業担当）	・光ファイバー回線を使った電話サービスがどれだけ進むかによるが、設備投資に時間が掛かる。
ゴルフ場（企画担当）	・今月の入場者数は悪いが、連休を含めて5月の予約数は前年並みで推移している。良くはならないが、そこそこの数字は残せる。
美顔美容室（経営者）	・来月からキャンペーンが始まるが、同じサロンが多く出店してきている。
住宅販売会社（従業員）	・景気が良くなる要因が見られず、じりじりと悪くなっていく。
住宅販売会社（企画担当）	・今は残業時間が減り、収入減になっているという話をよく聞くが、後は改善されて良くなっていく。
やや悪くなる	一般小売店〔書店〕（経営者） ・リサイクル店は比較的不況に強いと思っていたが、全体が悪すぎるため、やはり悪くなっていく。
	一般小売店〔酒類〕（経営者） ・一部のスーパーでの商品値下げや、高速道路料金引下げもあり、良い材料もある。しかし、回復には結び付かず、景気は後退していく。
	一般小売店〔贈答品〕（経営者） ・給料が増えない限り、今後も財布のひもは固いままである。
	百貨店（企画担当） ・これまで堅調を維持してきた食料品の中でも、惣菜等の勢いがなくなっている。高額品が動かず、衣料品の落ち込みも本格化する。必需品でこれまで落ち込みがなかった化粧品も、鈍化する。洋菓子以外は、全体的に悪化する。
	百貨店（売場主任） ・イベント時の売上も少なく、客の購買意欲の回復にはまだ時間が必要である。
	百貨店（販売担当） ・今年はボーナスの減少が予想され、消費は冷え込む。宝飾品等の高額品の苦戦は確実である。前年冬のボーナス期には、単価は低下したものの需要はあった。後はそれもなくなる可能性がある。

スーパー（経営者）	・売上は前年同月比15%の減少で推移しているが、これ以上の大きな落ち込みはなく、やや悪くなっていく程度である。
スーパー（店長）	・定額給付金は給付されるが、残業の減少等により収入が減少しているため、消費の刺激にはならない。消費は依然として悪化傾向が続く。
コンビニ（経営者）	・客は給料が減って子供の学費に金が掛かるため生活できないと話している。同業者も、いつまで商売が続けられるかといった話題ばかりである。今後、徐々に不景気の影響が出てくる。
コンビニ（エリア担当）	・今もかなり厳しいが、周辺の工場で人員削減が予定されているため、更に悪くなる。
コンビニ（エリア担当）	・タスポ効果が一巡することに加えて、将来に向けた好材料も見当たらない。その一方で、競争店の出店予定があるため、今後はやや悪くなる。
家電量販店（店員）	・前年はエアコンの売行きが良かったため、反動減がある。また、住宅建設等が低迷しているため、新規需要も増えてこない。
住関連専門店（営業担当）	・新築工事が止まったままとか、住宅購入を見送る客が多くなっている。リニューアル工事は増えても、全体として売上は増えない。
都市型ホテル（支配人）	・4月以降は、企業の宴会予定が入っていない。予算が付けられていない様子である。
都市型ホテル（営業担当）	・企業の経費削減は、今後ますます進む。
旅行代理店（従業員）	・給料が増えないため、今後はレジャーにお金が回らず、悪くなっていく。
タクシー運転手	・失業者の増加や所得の減少により、しばらくは厳しくなる。
通信会社（開発担当）	・親会社からの仕事の発注が、今後更に減少する。
理美容室（経営者）	・客からは、今後も景気が悪くなるという話をよく耳にする。
美容室（経営者）	・客からは、明るい話題は聞こえてこない。今後も悪い状況が当分続く。
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・4月からの改正介護保険法の影響と、福祉用具の値上げにより、利益率は低下する。
設計事務所（職員）	・景気が良くなる要素は聞かれない。高速道路料金引下げも、運輸関係には影響がない。
その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	・4月以降の見積依頼や引き合いが、ほとんどなくなっている。
悪くなる	
商店街（代表者）	・製造業の不景気の影響が、物販やサービスにじわじわと押し寄せて来ている。
商店街（代表者）	・製造業の不振による影響が、今後一層深刻になる。
一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	・食品業界では景気悪化の影響が最後に表れるため、今後は一段と落ち込む。
百貨店（外商担当）	・株価の低迷、先行き不安が続くと、購買意欲は改善しない。そのため、先行きも厳しくなる。
スーパー（経営者）	・地元はオートバイ、自動車関係の下請企業が多いが、現在は週休3日である。5月に入ると、休みはもっと増える。大型企業が15日間休むと下請企業は18日間休むということになるため、消費は増えない。
スーパー（店長）	・自店の周辺で、製造業3社の社員寮が閉鎖されている。自動車関連企業だけでなく、他の業種の企業でも期間従業員の整理をしている。また、パート募集の問い合わせの電話が増加しており、そのほとんどは朝8時から夜5時まで他社で働いている人である。その仕事が終わってから夜間に働きたいということであり、家計が深刻な様子が伝わってくる。
コンビニ（店長）	・買い控えは今後も続く。特に、嗜好品の動きが悪くなっていく。
コンビニ（企画担当）	・夏のボーナスは減少するため、買い控えが続く。
衣料品専門店（経営者）	・高額商品の売れ筋が減少しているため、今後は売上に大きく響いてくる。
住関連専門店（店員）	・高額インテリア用品の売行きは、今後非常に厳しくなる。
その他専門店〔貴金属〕（店長）	・客との会話では、先行き不安に関する話題が多い。明るい話題はなく、販売量が増える気配は全くない。厳しい経営状態は今後も続く。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	・アメリカ経済の回復は、年末以降と考えられる。当地域は輸出企業が多いため、今後も回復は見込めない。

		高級レストラン（スタッフ）	・予約の勢いが鈍っている。景気の下げ止まりはなく、むしろ底割れに向かって進んでいる。
		スナック（経営者）	・客の話では、4月から給料や夏のボーナスのカット、経費のカットなど、明るい話題がなく、財布のひもは固くなる一方である。今年の連休は長期になる企業が多くなる様子である。連休明けは、ますます繁華街は静かになる。近所の店でも閉店する話を聞いており、厳しい状況は続く。
		観光型ホテル（販売担当）	・来客数の減少は当然となっており、低価格競争のため競合も厳しい。
		都市型ホテル（経営者）	・不況ムードが強く、必要以上の節約、買い控えが今後も続く。
		都市型ホテル（従業員）	・予約数から見ると、今後も悪くなっていく。
		ゴルフ場（経営者）	・3か月先までの予約状況は、日を追う毎に悪くなっている。来場者数の前年同月比20%以上の減少は避けられない。
		パチンコ店（経営者）	・客単価の低下は今後も続く。
		設計事務所（経営者）	・計画中の案件も、全て中止、延期になり、実施設計に入る案件はない。
		住宅販売会社（経営者）	・地価が低下傾向にあるため、客の間では様子見が見られる。今後も買い控えは進む。
		住宅販売会社（従業員）	・新築住宅、建替え共に、住宅ローンの借入が必要となる。将来所得の見通しが立たない現状では、新築は難しい。今後も極めて厳しい状況が続く。
企業動向関連	良くなる やや良くなる	-	-
		紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	・受注量は、2月を底として、3月は約10%回復している。4月から5月には、受注量は更に10%ほど回復しそうである。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・取引先ではまだ在庫調整している企業が多いが、全体としては徐々に動き始めている。前年同月比3分の2程度の受注量までは回復しそうである。
		輸送業（経営者）	・製造業の在庫調整はかなり進み、原材料も動き始めるとの情報があり、輸送の引き合いが来ている。消費財も、販売促進のためのセールが企画されており、物量の増加が見込める。
		不動産業（開発担当）	・分譲マンションのモデルルームへの来場者数は、年明けから戻ってきている。一定の値引きが前提ではあるが、成約者数も増加傾向にある。
		行政書士	・不安定ではあるが、底打ちして、先行きにはやや改善傾向が見られる。
	変わらない	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・春から初夏にかけては、毎年堅調な広告企画商品がある。今年も例年並みに仕事の予定が入っている。
		化学工業（企画担当）	・世界の株価は少し回復し、原油価格も安定している。ただし、急速な回復は見込めない。
		金属製品製造業（従業員）	・川上の需要となる建築物件があまりに少ないため、今後も仕事量の増加は期待できない。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・自動車産業の取引先では、ほぼ例外なく生産調整を実施している。増産計画も現在のところ全くない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・工作機械の受注量はピーク時の20%、自動車、電機では50~60%と、極端な落ち込みが今後も続く。自動車の一部に回復が見られるが、まだ底は脱していない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・製造業では在庫調整が若干進んだという報道もあるが、ここまで雇用が落ち込んだ現状を見ると、ここ数か月では景気は回復しない。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・景気が好転する理由もないが、更に底割れするような理由もない。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・3か月先には、客からの発注量が増加する予定である。それでも、当社の損益分岐点を超える売上にはなっていない。赤字のまま続く。
		輸送用機械器具製造業（財務担当）	・得意先からの受注量は5月以降回復するものの、当初の期待ほどではなく、力強さに欠けている。
		輸送業（エリア担当）	・在庫調整が一巡したとか、回復の傾向が一部に見られるとかの報道もあるが、身の回りでは具体的な話はまだない。
		会計事務所（職員）	・定額給付金等による一時的な景気回復は見られるが、短期的である。製造業の受注もしばらくは低迷が続きそうである。
		会計事務所（社会保険労務士）	・雇用調整助成金の申請が、4月分までで終わりそうにない。夏頃までは続けるという顧問先企業が多い。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・好材料もないが悪材料も出尽くしている。

	やや悪くなる	食料品製造業（企画担当）	・取引先では、販売価格を下げる様子であるが、販売量の増加にはつながらない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・取引先業界の今後の設備投資の動きが、把握できていない。現状がやや良いため、先行きはやや悪くなる。
		輸送用機械器具製造業（統括）	・主力取引先からの受注には、当面回復の兆しが見込まれない。夏になれば新製品がでるので期待できるが、それまでは現状と変わらない。
		輸送業（従業員）	・日用品を始め、内需関連の貨物量がなかなか伸びていない。原油価格がじりじりと上昇しているため、先行きが大変不安である。
		輸送業（エリア担当）	・取引先企業の多くで、受注量が非常に少ない。そのため、しばらくは見通しが立たない。
		金融業（企画担当）	・自動車業界の生産調整は一服感が見られるが、売上は半減に近い状況であり、悪い状態が今後も続く。
		広告代理店（制作担当）	・企業の次年度予算が削減されており、新しい動きは全くといていないほど見られない。
	悪くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・消費が大幅に落ち込んでいる影響により、受注量、販売量共に悪くなる。
		鉄鋼業（経営者）	・住宅着工や設備投資は6月までは低水準が続く。原材料の発注が先延ばしになり、今後も少ない仕事を多くの企業で争う競争が続く。
		金属製品製造業（経営者）	・引き合いが減少している。また、取引先企業の生産見込みも減少している。
		不動産業（経営者）	・不動産価格の低下に伴い、運転資金等の資金繰りが困難になる可能性が高い。先行きは不透明であり、景気回復に期待は持てない。
		広告代理店・新聞販売店〔広告〕	・4月以降の広告の出稿受注量は、前年同月比で8割減少する。特に製造業関係の求人の受注、商品の広告等が激減しているため、今後は一段と悪くなっていく。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	アウトソーシング企業（エリア担当）	・周辺企業では在庫調整が終了し、先月に比べると好転している。ただし、アウトソーシング業界がその恩恵を受けるのは、数か月先である。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	・現状はやや悪いものの、先行きは下げ止まる。
		職業安定所（所長）	・企業からの求人数は減少が続いており、求人倍率は悪化傾向にある。ただし、企業の話では、3月が底との声も聞かれる。
		職業安定所（職員）	・求人数が減少している割には、就職件数はそれほど減少していない。また、企業の話でも、今より悪くなるとは聞かれない。
		職業安定所（職員）	・景況は不透明であり、企業の経費削減、人員削減等により、引き続き解雇が発生することも予想される。
		民間職業紹介機関（職員）	・企業では増員する状況にはないため、当分は今の状況が続く。
	やや悪くなる	人材派遣会社（経営企画）	・企業の研究開発体制の見直しが完了しないため、今後3か月間は、契約の不更新が発生する。
		人材派遣会社（社員）	・例年よりも、派遣社員の予約状況がよくない。
		人材派遣会社（社員）	・未就労の求職者が増加傾向にある。しかし、それに見合う求人案件がないため、雇用状況は今後悪化していく。
		人材派遣会社（営業担当）	・3月末で、人員調整の目処は一応立っている。一部企業では、5月以降に減産体制を緩める計画も出されている。しかし、いずれにしても、大きな求人数の増加は見込めない。
		求人情報誌製作会社（企画担当）	・急激な悪化は収まったものの、下がりきった感じはない。今後、更に下がっていく。
		職業安定所（所長）	・企業による非正規労働者の雇止めはまだまだ続き、雇用調整に入る企業も増えてくる。
民間職業紹介機関（社員）		・求人数の増加は見込めない。	
学校〔大学〕（就職担当）		・企業業績の悪化の影響が、今後徐々に出てくる。	
悪くなる	人材派遣会社（経営者）	・現在、派遣している人材は、毎月終了になっている。このため、3か月後、半年後の売上は減少する。	
	人材派遣会社（支店長）	・3月末までに、事務職、技術職の派遣社員は3～4割削減されている。自動車部品メーカーでは、業績の長期悪化を受けて、6月末までに派遣社員を更に削減する計画が進められている。派遣市場の縮小に歯止めが掛からない。	
	人材派遣会社（社員）	・自動車、電機関連企業で生産回復の兆しが見られないため、製造業を中心に今後、派遣需要は一段と減少していく。	

人材派遣会社（営業担当）	・物流回復の兆しが見えない。それに携わるスタッフも必要とされなくなる。
求人情報誌製作会社（編集担当）	・求人数の減少は今後も続く。
新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・新聞求人広告の売上は、今後一層厳しくなる。
新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・新卒の募集企画が悪化している。企業では、来年度の採用を大幅に控える動きが出ている。中途採用の一般求人募集も、夏までは様子見であり、全く動く気配がない。
職業安定所（職員）	・3月は2月と比べて少し落ち着いた感じがあるが、3月末日以降の退職予定者は相当数に上ると思われ、先行きは更に悪化する。